



犬・笑・暮だより vol.60

暑さ対策① ～節電しながら～



3年前の東日本大震災による福島原発事故による電力不足・その後の原発停止などもあり、毎年夏は全国的に節電が呼び掛けられていますね。飼い主にとっては、愛犬の昼間の過ごし方やお留守番が気になる場所ですね。そこで、節電しながらも愛犬の健康を守る提案をいくつかご紹介いたします。

被毛で体温コントロール

ブラッシングを頻繁に行い、アンダーコート（下毛）をできる限り取り除いてあげましょう。風通しがよくなり、過ごしやすくなります。お腹の部分バリカンで刈ってあげると、タイルなど冷たい床の上に寝そべった時、冷たさが伝わりやすくなります。

サマーカットは、日差しの影響を受けやすいので、日向でのお散歩にはかえって皮膚に負担をかけてしまうことがあります。体を短くカットした場合、直射日光を浴びる時には、薄い洋服などを着せてあげるのもいいかも……。

涼しく暮らすアイデア

お家の中の風通しを確保しましょう。特に、愛犬がいつもいる床の近くに風がわたるといいですね。昔の家では、壁の下の方に小さな窓を設けることも多かったのですが（※1）、最近の住宅ではあまり見かけなくなりました。今もある家は貴重です。同じような風通しをそれぞれのお家で工夫出来たらいいですね。

夏の強い日差しを防ぐためには、「グリーンカーテン」や「すだれ」、「よしず」などで窓を覆い、お部屋の温度を高めない工夫をするのもいいでしょう。

保冷剤や、凍らしたペットボトルをタオルなどで包んで、ワンちゃんのお部屋に入れてあげるのも有効です。お出かけの時には、キャリーやカートにも入れてあげましょう。

最近ではひんやりと感じるクールマットやベスト、首に巻くと涼しいクールカラーなども出ています。愛犬が好むものを見つけてあげましょう。



つる植物を絡ませたグリーンカーテン（緑のカーテン）は、植物の蒸散作用によって周囲を冷やす効果も期待できます。見た目も涼しげですね！



冷たくてくて気持ちいい～

保冷剤をケースに入れて、お出かけの時に持っていくのもいいですね♪

「窓」についてちょっと解説

（※1）のような壁の最下部に設けられた小さな窓は、室内のホコリなどを掃き出すために設けられたことから「掃き出し窓」ともいいます。しかし最近では、「掃き出し窓」といえば、床面から立ち上がる背の高い窓（マンションであればバルコニーに出る窓）などをさして使われることが多くなってきました。

床面に接した位置にある小さな窓は「地窓（じまど）」ともいいます。ちなみに、天井近くの窓のことを「高窓（たかまど）」といい、腰の高さに設けられる窓は「腰高窓（こしだかまど）」ともいいます。地窓は、対角線方向に向き合う窓と組み合わせると、自然換気に効果があります。



愛犬に関するお住まい・お庭のお悩みは **庭遊館** にお気軽にご相談下さい



携帯サイトはコチラ！！

庭園工事・外構工事・管理・設計施工

株式会社 庭遊館

〒504-0945 各務原市那加日新町6-65

TEL 058-216-3110

FAX 058-216-3113

<http://www.teiyukan.jp>

